



東俣野 11月号

東俣野小学校 学校だより 令和元年10月31日

自然との共存

副校長 宮崎 恵子

今年の10月は台風が何度も日本列島を襲いました。特に19号は過去最大級の威力で、広い範囲に大きな被害をもたらせ、多くの方が犠牲となりました。神奈川県内でも、豪雨による土砂災害や高波、さらに連日報道された多摩川の氾濫で大きな被害や多くの犠牲者が出てしまいました。被害を受けた方々には心よりお見舞い申し上げます。

台風、地震、津波、雷、火山、竜巻・・・自然の力は本当に恐ろしく、私達はその猛威の前にはあまりに微力です。しかし「自然」は恐ろしいだけのものではありません。私達はその「自然」から、たくさん恵みを受けていることも事実です。私たちは、海や川にすむ魚たちや、雨の恵みで田畑に実った植物などを、おいしくいただいて生きています。また、日本は火山や地震が多い分、いたるところに温泉が湧き、私達はそれに癒されます。春には桜が咲き、夏には海水浴を楽しみ、秋には紅葉狩り、冬にはスキーやスケートに挑戦することができるのも日本の自然がもたらす恵みであり、四季折々の美しい景色も自然からの贈り物です。東俣野の町から見える富士山の姿に心が癒されることも、自然からの恩恵といえるでしょう。

つまり自然はときに恐ろしい姿となり大きな被害をもたらしますが、その一方で私達に多くの幸せも与えてくれているのです。

だからこそ、私達は、そんな自然といかに共存していくかを考えていかなければなりません。そのためには、自然災害を防ぐための備えである「防災」や、被害を少しでも減らす努力「減災」についての取り組みが必要になります。そしてそれは、台風が近づいてきたからと、急に慌ててパンや水を買いに走るのではなく（実は私もそうでした・・・）、普段からきちんと備えたり考えたりしておくことなのだと思います。

学校でも、毎月、様々なパターンを想定しての防災訓練を行っております。また地域でも9月、10月には東俣野町内会の防災訓練があり、11月には影取町・東俣野町合同の拠点防災訓練が行われます。ぜひ、ご家庭でも地震の際の集合場所や、ハザードマップの確認、非常用持ち出し品の点検など、子どもたちを交えて話題にさせていただき、自然との共存について考えていただけたらと思います。

テストメール配信について

11月も1日（金）にテストメールが一斉に配信されます。このテストメールに限らず、一斉に配信されるメールは、複数の学年に登録していても1通しか届かない仕組みになっています。このため、複数学年に登録されている方から「全ての学年で登録ができていないのかがわからない」という問い合わせをいただきましたが、メール会社のシステム自体がそのようなになっているため、申し訳ありませんが、ご了承ください。なお、アプリの場合は、トップ画面から登録完了している学年が確認できますのでご利用ください。